



CAMPUS PC GUIDE

S P R I N G 2 0 2 0

大学生のパソコン選びはここから始まる

パソコン購入前に

保護者の方も

必読!





春から大学生！
大学生になったら
自分のパソコンが
必要だね。

そんなに
使わないんじゃないの？
家のパソコン
使えばいいじゃない。
そもそも、スマホで
いいんじゃないの？



いえいえ、大学生活は
パソコンが必要なシーンに
満ちています。
いつでも使える
自分専用のパソコンは
大学生の
必携アイテムですよ。



マイパソコンは大学生の必需品

自分専用のパソコンがなければ、大学生活は始まらない

入学後すぐに
必要になるので
入学までに準備しましょう。

入学後すぐにパソコン
を使って履修登録をし
ます。1年生からレ
ポート作成も始まるの
で、入学までに準備す
る必要があります。

履修登録や
レポートで
入学後すぐに必要

勉学だけでなく、サー
クルや趣味、情報発信
など、パソコンででき
ることは無限。新しい
世界を開くドアとも
いえます。

自分の視野や
可能性を広げる
ツール

自分専用の
パソコンが
大前提

家族共用や大学備え付
けのパソコンは、使いた
いときにいつでも使え
るわけではありません。
パソコンは、通学途中や
授業の合間など、空いた
時間にいつでも使える
ことが非常に重要です。

研究や論文作成、
発表に不可欠

実験や研究のデータ
整理、統計・解析など
にパソコンは不可欠。
どの学部でも、論文作
成や発表になくては
ならないものです。

語学学習や
短期留学でも
必要に

学生のうちに語学力を磨く
ことは重要。Web教材を使
った学習から留学時のコミ
ュニケーションまで、パソ
コンは強い味方です。

パソコンは
スマートフォンでは
対応できない用途に
幅広く使えます。

就活サイトへの登録から
エントリーシート作成、
企業との連絡など、あら
ゆる場面でパソコンが必
要。Webテストなど、スマ
ホでは利用が難しいもの
もあります。

パソコンが
なければ
就職活動は
できない

スマホはポケットに入るサ
イズが基本。画面が小さく、
Excelデータなどの作成・
編集に限界があります。

スマホは
画面が小さく
編集作業に
向かない

スマホは
長文の入力に
とても手間が
かかる

レポートや論文は長文
を作成するため、キーボ
ードからの入力効率が
低い。スマホでは文字入力
に時間と労力がかかって
非効率です。

スマホは
大容量ファイルの
管理や保存が
難しい

研究やレポートでは
大きなデータの取り
込みや編集・保存が必
要なことも。高い処理
能力や十分な保存容
量といったニーズに
応えられません。

パソコンと
スマホの
連携が重要

パソコンにもスマホ
にも得意分野があり
ます。シーンによって
使い分けて連携させ
ると、よりいっそう便
利です。





パソコンが
必要なことは、
よく分かりました。

でも、**どんなパソコンを**
選べばいいの？

さまざまな面で
卒業まで安心して使える
いいものを選びましょう。
「安いものを手取り早く」
は、とても危険です。



やった！
わたし専用のパソコン
買ってもらえる。



マイパソコンはしっかりと選びましょう

大学生に最適なパソコン選びのポイントとは？

私たち大学生、特に新入生
はパソコンの扱いに慣れて
いない人が多いので、故障
などに対する保証や困った
ときのサポートは重要な
ポイントです。

保証や
サポートが
充実していること

WordやExcel、PowerPoint、
セキュリティソフト、語学
学習ソフトなどは大学生に
不可欠なもの。必要なソフト
が準備されていることは
重要です。

必要なソフトが
準備されて
いること

さらに

自分専用の
プリンタがあると
便利

プリンタはパソコンのパート
ナー。レポートなどをい
つでも印刷できるよう、自
分専用のプリンタを持つこ
とも重要です。

持ち運びが
手軽であること

授業で使うことはもちろ
ん、教室以外での利用シー
ンも多いので、持ち運びの
しやすい大きさや重さは重
要なポイント。モバイルノー
トパソコンがおすすめです。

卒業まで
十分に使える
機能・性能が
必要

卒業まで買い換えずに使え
ることも重要。3・4年生
になっても十分に使えるよ
う、高機能で新しい機種を
選びましょう。



そんなパソコン、
探すのが大変じゃないの？



先生の声

大学生活にパソコンは必要？
それとも、スマホで十分でしょうか？



甲南大学 経営学部 教授
西村 順二 先生

現代の学生は、スマホを文具・通信・情報収集・交流のツ
ールとして利用しています。スマホで多くのことができるよう
になりましたが、深く考える、俯瞰して見る、そして論理的に思
考するという点では、まだまだ劣っています。情報を集めるこ
とができても、その処理や分析においてはパソコンがより有
効です。高校までは「何か」が大事で、情報を集めて整理す
ることでよかったでしょうが、大学では「何故か」が重要にな
ります。この「何故か」を解決する上で、つまり研究課題の考
察・分析を進める上で、パソコンは大きな親和性を持ってい
ます。学生生活の出発にあたって、学習から研究へモードを
変えるには、パソコンが不可欠です。



4年間
安心して使える
保証がついている

自然故障に対応したメーカー保証と不注意などによる故障をカバーできる動産保証が4年間ついています。



大学生の用途に
合った機能が
搭載されている

メーカーの協力のもと、大学生の用途に最適な機能を搭載。高学年になっても幅広い用途に十分使い続けることができます。

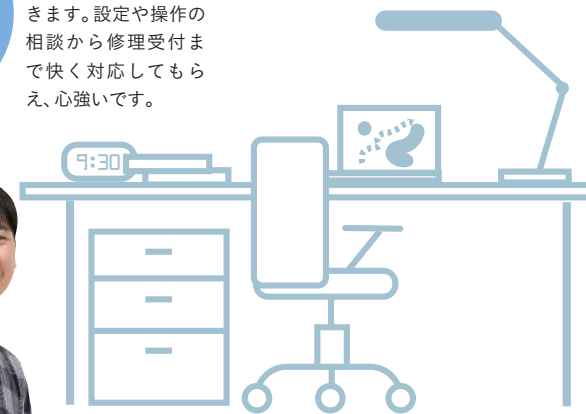


先輩たちの声や
長年のノウハウが
集約されている

私たちが在学生はもちろん、多くの先輩たちも使ってきました。学生から寄せられたさまざまな意見や要望が活かされたパソコンです。毎年約7万人の大学生が購入しています。

困ったときに
相談できる人が
近くにいる

キャンパス内に店舗があるので、困ったときは、いつでも相談できます。設定や操作の相談から修理受付まで快く対応してもらえ、心強いです。



保証やサポートのくわしい内容、大学生のパソコン活用シーン、将来に役立つアドバイスなどを次のページからご紹介しています。ぜひお読みください。



大学生にジャストフィットするのは 大学生協のオリジナルパソコン

私たち学生が選ぶのには、たくさんの理由があります

大学生活に
役立つ
多彩なソフトが
使える

レポートや論文の作成・発表に不可欠なWordやExcel、PowerPoint、語学学習、情報倫理など、有益なソフトがたくさん準備されています。



高信頼の
セキュリティソフトが
4年間使える

ウイルス感染などの脅威からパソコンを守ってくれる信頼性の高いセキュリティソフトが4年間更新費用なしで使えます。



持ち運び
しやすい
モバイルノート

大学生にとって持ち運びは必須。軽量で持ち運びしやすいサイズのモバイルノートです。

講習会や
パソコン点検など
万全のサポートが
頼もしい

パソコン講習会やプロがパソコンの状態をチェックしてくれる点検会など、安心して使うためのサポートがすごく充実しています。

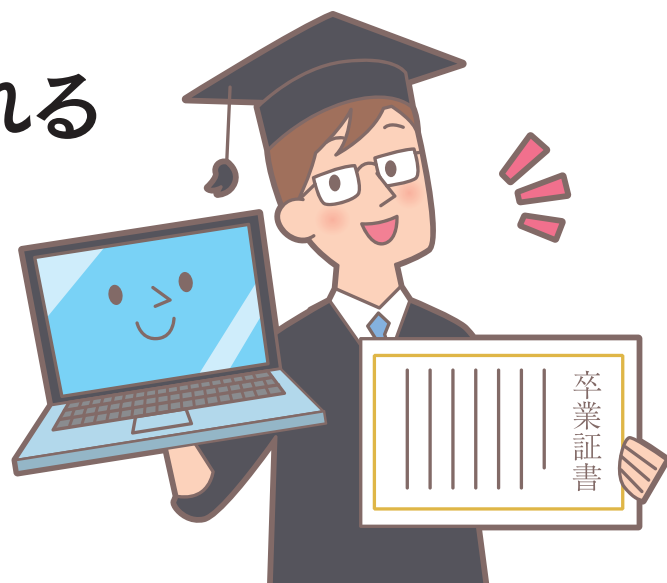


なるほど！
これなら卒業まで
安心して使えそう。
大学生協のパソコンなら
安心ね。



4年間 安心して使い続けられる 手厚い保証

パソコンの取り扱いに慣れていない新入生にとって、安心は大きなポイント。
自然故障でも、不注意による故障でも、
4年間安心して使い続けることができる保証が
大切なパソコンを守ってくれます。



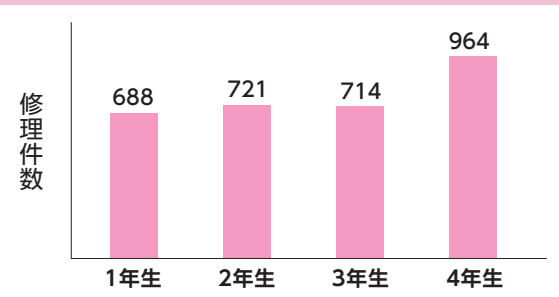
自然故障に対応する

長期メーカー保証

パソコンは、精密な部品がたくさん集約されてできているため、正しい使い方をしても故障してしまうことがあります。この自然故障に対する修理をカバーするのがメーカー保証です。通常の保証期間は1年がほとんどですが、入学時に購入したパソコンを卒業まで安心してお使いいただけるよう、大学生協ではメーカー保証を4年間に延長しています。*

自然故障は使用年数に応じて増えてくる

パソコンの自然故障箇所は、主に記憶装置、キーボード、液晶ディスプレイ、DVDドライブなどが挙げられますが、グラフが示すように使用年数に応じて件数が増加します。高学年になるほどパソコンの使用頻度や重要性が高まるため、自然故障に対する修理が4年間無償で受けられることは、大きな安心材料といえます。



※2017年4月から2018年3月までの修理受付から自然故障分を抽出
(グローバルソリューションサービス株式会社提供)

安心できる保証がついていても、パソコンは大切に扱しましょう。

修理できてもデータの復旧ができないケースもありますので、必ずバックアップを取っておいてください。



不注意による故障などをカバーする

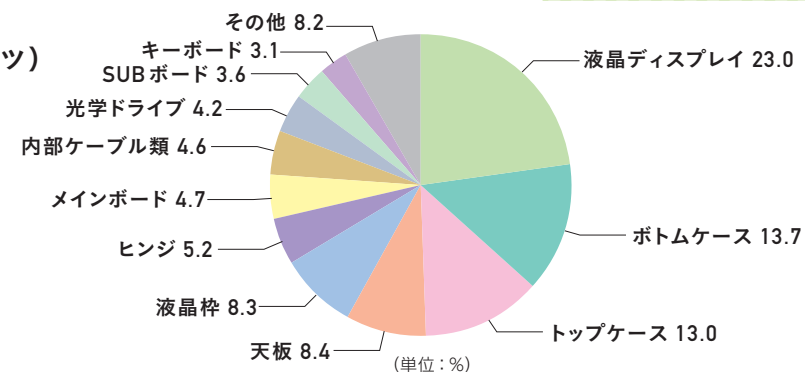
動産保証

大切に扱っているつもりでも、不注意でパソコンを壊してしまうことがあります。キーボードの上に飲み物をこぼす、机から落としてしまう、ペンやイヤフォンを挟んだままパソコンを閉じてしまう、といった不注意による「うっかり故障」は後を絶ちません。卒業までの4年間、こうした故障や破損、さらには盗難をカバーするのが動産保証です。5,000円からの低額な自己負担金で修理が受けられ、修理不可の場合は再購入の補助も用意されています。*



動産保証適用による故障箇所(交換パーツ)

●2018年4月から2019年3月まで1年間、動産保証適用で交換したパソコンのパーツ上位15位までの内訳



こんな「うっかり故障」が、少ない自己負担金で修理できる*

事例1

パソコンの上に飲みものをこぼしてしまった

症状：電源が入らなくなる
修理費用：81,324円のところ
自己負担金：5,000円

事例2

パソコンを閉じる際に異物を挟んでしまった

症状：液晶ディスプレイ破損、画面がチラつく
修理費用：74,520円のところ
自己負担金：5,000円

事例3

パソコンを机の上から落としてしまった

症状：電源が入らなくなる
修理費用：135,324円のところ
自己負担金：40,324円

●購入3年目で補償限度額100,000円の事例です。修理費用が限度額を超える場合は、その差額に5,000円を加算した金額が自己負担金になります。

*保証内容や補償限度額、自己負担金は、メーカーや大学によって異なります。くわしくは、各大学生協の保証内容をよくご確認ください。
動産保証は、地震や水害などの自然災害には適用されません。

困ったときに心強い サービスやサポート

パソコン講習会 …… セットアップから基本操作まで、パソコンの使い方を分かりやすく講習



大学入学までパソコンに触れる機会が少なく、操作方法に不安を持つ人は多いでしょう。大学生協では、その大学の状況に応じて、オリジナルパソコン購入者を対象に講習会を開催しています。高いスキルを持っている先輩たちと大学生協が協力して企画から運営までを手づくりで行うケースも多く、セットアップから基本操作まで、分かりやすく講習します。入学後すぐに履修登録やレポートなどでパソコンを使うこともあり、「受講してよかった」という声が毎年数多く寄せられています。

※パソコン講習会は、大学によって実施の有無や内容が異なります。

パソコン点検会 …… パソコンの健康状態をプロが無料でチェック



1年に1回もしくは2回、パソコンの健康状態をチェックできる点検会をキャンパス内で実施しています。専門技術を持ったパソコンのプロが無料でパソコンの状態を確認し、簡単なメンテナンスや清掃、使い方のアドバイスを行います。「動作が遅くなった」「ウイルス感染が心配だ」といった不安が解消され、パソコンが快適に使えるようになったという事例も多く聞かれます。

実施概要

会場	大学構内（生協店舗や教室など）
実施回数	年に1回もしくは2回
対応スタッフ	購入いただいたパソコンを取り扱える専門スタッフ
内容	ハードウェアの点検を中心に実施 ■お困り状態の確認、機器のお預かり ■動作診断 ■簡単なメンテナンス（ヒンジカバー、ビス、キートップなど） ■機器の清掃 ■状況の説明、取り扱いに関するアドバイス

パソコンを使っていると、故障などのトラブル以外にも、設定や操作の方法が分からずに困ることがあります。大学生協ではキャンパス内の店舗でご相談にお応えするだけでなく、万全のサービスとサポートで大学生のパソコンライフを支えています。

先輩の声

東北学院大学 経済学部 経済学科 1年
風間優里子さん

分かりやすい説明や
グループ学習で
役立つ操作法を
楽しく習得できました



大学生協のスタッフから勧められて、入学してすぐにパソコン講習会を受講。図表やグラフの作り方、Word、Excelの基礎など、授業やレポートに役立つ操作法を色々学びました。講師である先輩方は優しく、はつらつとして輝いて見え、ほとんどパソコンに触っていなかった私にも分かりやすく説明してくれました。また、グループで協力するゲームを通して、さまざまな学部との友達をつくることもできます。互いに教え合うことで知識が深まりますし、レポートの書き方を詳しく知れたことも大変助かりました。いいことづくしの講習会でした。

先輩の声

秋田大学 理工学部 物質科学科 3年
佐藤賢真さん

授業の合間に
点検に出せて
問題点などをくわしく
教えてもらえました



大学生協のオリジナルパソコンを使っているのですが、持ち運びが多いせいか、液晶の画面に赤い線が映ったり、DVDやUSBポートが反応しなかったりすることがあったので、パソコン点検会に持ち込みました。キャンパス内で実施されるため、授業の合間に友達と一緒に出すことができ、授業後に取りに行く点検が終わっていました。修理が必要な箇所やストレージ管理について教えてもらっただけでなく、知っておくとパソコンが長持ちする扱い方などの質問にも気軽に答えてもらえ、すごく助かりました。

※パソコン点検会は、大学によって実施の有無や内容が異なります。

サポート窓口 …… 気軽に立ち寄れるキャンパス内の店舗でサポート

キャンパス内の店舗がサポート窓口となることも、大学生協オリジナルパソコンの大きな特長。修理受付はもちろん、設定・操作方法など、普段パソコンを使っていて分からないことや困ったことのご相談にもお応えします。トラブルの場合でも、店頭で対処できることであれば、その場で解決。空いた時間に気軽に立ち寄れる修理窓口が学内にあって、相談できるスタッフがいることは、パソコンを使う上で大きな安心感になります。

店舗スタッフの声

西南学院大学生協
鈴木 亮さん

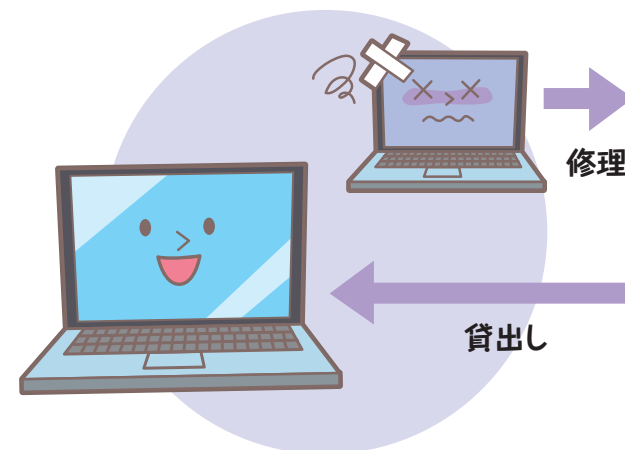
気軽に立ち寄ってご相談いただける
サポート窓口でありたい



大学生協の店舗では、常時パソコンのサポートカウンターを設けて、パソコン本体の修理受付はもちろん、ソフトウェアの不具合や簡単な使い方のご相談を受け付けています。キャンパス内に窓口があり、授業の合間に立ち寄っていただくことができるため、年間を通じて多くの学生さんに利用されています。「故障かな？」と思ったことでも、設定の間違いであることが少なくないので、その場で直ることもあります。どんなことでも気軽ににご相談いただけるサポートカウンターでありたいと思っています。

代替機貸出し …… パソコンの修理期間中に代替機を無料貸し出し

故障や破損の状態にもよりますが、通常パソコンの修理にはある程度の日数が必要です。その間パソコンが使えないと、「レポートが書けない」といった困った事態になってしまいますので、修理期間中にパソコンをお使いいただけるよう、代替機の無料貸出しサービスを行っています。



※代替機は購入された機種と異なる場合があり、台数には限りがあります。

無料電話サポート …… 夜間でも電話でパソコン操作の相談ができる

大学生協の店舗が営業していない夜間や休日でもパソコンについてのご相談を受けられるよう、無料電話サポートを1年間ご提供しています。設定から通常の操作方法、トラブル対応まで、豊富な知識を持った専任オペレーターが、分かりやすく丁寧に対応します。

- 対応期間
2020年3月1日～2021年2月28日
(年末年始含め、土・日・祝日もご利用可能)
- 受付時間
10:00～23:00



大学生活はパソコンの活用シーンにあふれている

4年間 のパソコン活用シーン



名古屋市立大学 人文社会学部 国際文化学科 4年 高松浩平さん

学年ごとに
用途が広がるパソコンは
4年間を通じて
手放せない存在



1年生

入学したらまずパソコンで履修登録を行います。もちろんレポート作成もすぐにスタート。英語の授業ではPowerPointを使ってスライドを作成し、発表しました。



2年生

サークルは大学生協の学生委員会。組合員向けのチラシやポスターなどの印刷物をパソコンで制作します。後期からはゼミも始まり、パソコンの活用シーンも多くなりました。



3年生

専門分野の勉強が本格化。専攻は日本古代史なので、図書館へ行って文献とパソコンで調べものをする機会も増えます。学外の研究会との連絡にもパソコンが活躍しました。



4年生

教員志望なので、5月から教育実習へ。授業のプリントや指導案の作成などにパソコンは欠かせません。もちろん、卒業研究や論文作成にも、パソコンはフル稼働しています。



大学生にとってパソコンは、なくてはならないもの。パソコンのない大学生活は、ありえないといっても過言ではありません。先輩たちは、どのようなシーンで、どのようにパソコンを活用しているのでしょうか。お二人の事例をご紹介します。

1日 のパソコン活用シーン

早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科 2年 横川奈央さん

朝から夜まで
パソコンは
学生生活に欠かせない
大切な相棒



インターンで
Webサイトの
記事を作成
企業の実務を経験したくて週に何日かインターンに行っています。パソコンを使って“終活”関係のWeb記事を作成することが現在の仕事です。



空き時間に
サークル活動の
制作物などを進める
昼休みや授業後の空き時間にはサークル活動のポスターなどをパソコンで制作。私は理工学部の学園祭を運営する理工展連絡会に所属しています。



起床後しばらく
課題などを整理

起床して出かけるまでの間、1時間ぐらいパソコンに向かって、課題などを少しでも進めておくようにしています。



授業内容に添った
関連情報を調べながら聴講
スライドで投影される授業内容に添って、関連情報などをパソコンで調べながら聴講できる授業もあります。



プログラミングやプレゼンには
パソコンが不可欠

Webサイトを構築する演習では、プログラミングや発表資料の制作にパソコンが欠かせません。

1年生

履修登録
レポート
語学授業、留学

2年生

レポート
語学授業、留学
プレゼンテーション
サークル活動

3年生

レポート
プレゼンテーション
教育実習、インターンシップ
就職活動
資格取得

4年生

就職活動
進学準備
卒業論文
プレゼンテーション
レポート
資格取得

学生時代のパソコンスキル習得が 社会人としての飛躍につながる

卒業後どのような分野に進んでも、いまやパソコンなしに仕事はできません。
学生時代からパソコンの知識や操作法をしっかりと身につけておくことが求められます。
大学生は、どのような姿勢でパソコンやITと向き合えばいいのか、
卒業生、企業、先生、それぞれの視点で考えてみましょう。

卒業生に聞く

株式会社船井総合研究所 ものづくり・エネルギー支援部
小郷航輝さん



いま頑張るか、就職してから苦労するか、 それを考えてパソコンに向き合いましょう

新たな気づきを与えてくれた パソコン講習会

当社は総合コンサルティング会社として幅広い分野において経営コンサルティング業を展開しており、その中で私は再生エネルギーグループに所属し、太陽光発電の事業者や施工販売店などへ向けたコンサルティング業務に就いています。資料などはPowerPointやExcelを使って、すべてパソコンで作成しますし、顧客にチラシなどの印刷物のイメージを提案するために、デザイン系のソフトを使うこともあります。パソコンなしには仕事が始まらないという感じで、朝から夜まで仕事用のノートパソコンが手放せません。

パソコンに馴染んだのは割と早く、中学生の時にパソコンを自作したことがきっかけでした。そういう経緯から、中学・高校時代にある程度使えるようになっていたのですが、体系立てて操作法を学んだことがな

かったので、大学に入学して自分専用のノートパソコンを買ったことを契機に、大学生協のパソコン講習会を受講することにしました。すると、やはり基本的な操作で知らなかったことが色々あったのです。その講座で得られた気づきや、学んだOfficeソフトの操作方法は、いまでも役に立っていると感じます。



集中的に使って

スキルアップを図ることも必要

そうやって基本的なパソコン操作を習得していったのですが、法学部ということもあり、3年生までの使用頻度は、そう高いものではありませんでした。そして、4年生になった時にタイピングのスピードが遅いということに気づいたのです。「これはまずい」と思った私は、講義のノートをすべてパソコンで取るようにしました。加えて、膨大な文字数の卒業論文に挑んだこともあり、論文を書き終える頃には飛躍的なスピードアップを図ることができました。

当社の新入社員は入社後半月ほどで現場に投入され、まったく知らない業界の専門用語が飛び交う会議や商談の議事録をパソコンで取らねばなりません。多少の苦労はあったものの、それを乗り切れたのは、4年生の時に集中して使い込んでスキルアップできたからです。

パソコンスキルを採用条件に設定している企業は少ないものの、あらゆる分野において仕事にパソコンは不可欠です。いまはスマートフォンで色々なことができてしまう時代ですが、将来的に絶対に必要になるのであれば、いま困らなくても取り組むべきです。学生時代に頑張っておくのか、就職してから苦労するのか、その答えは言うまでもないでしょう。

Profile

兵庫県西宮市生まれ。2018年に甲南大学 法学部 法学科を卒業。いまの専門領域である太陽光発電の知識や経験を極めると同時に、幅広い分野に見聞を広め、「船井総研の小郷に任せておけば、すべてやってくれる」と言われるようなコンサルタントになりたいと語る。車が大好きで、休日のドライブが楽しみであるという。



企業に聞く

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
コンサルティング事業本部 組織人事ビジネスユニット
組織人事戦略部 兼 人材育成支援室 プリンシパル
木村謹治さん



高い目標を持って パソコンやITに取り組むことが 将来の価値につながる

当社は三菱UFJフィナンシャルグループのシンクタンク・コンサルティングファームとして、幅広い領域においてコンサルティングや調査研究、人材育成支援などのサービスを提供しています。大きくリサーチ部門とコンサルティング部門に分かれていますが、どちらに所属しても、統計や分析、顧客への資料作成などを行う上でパソコンスキルは非常に重要です。入社後、配属されるとすぐにそういったExcelやPowerPointを駆使する業務が待っており、パソコンスキルは採用選考の際に重視するポイントの一つになっています。

基本的にOfficeを使いこなせることが前提ですが、実務で提案資料を作成する場合、単に機能的に使えるだけの人と、「どのような見せ方が効果的であるか」というイメージを考えながら作る人との間には大きな差があります。そういう資質を身に付けておくことも重要だと思います。

また、社会のIT環境は極めて速いスピードで変貌していますので、その変化をキャッチアップする目を養っておくこともプラスになるでしょう。いまAIやロボティクなどの新しい分野に注目が集まり、ITに特化した高い技能や専門知識を備えた人が若くして高待遇を得られるような社会になりつつあります。そういった目標を設定し、学生のうちからパソコンやITを真剣に勉強して、自分の未来を拓いていくことを考えることも一つの選択肢だといえます。

Profile

1989年 中央大学 法学部 法律学科卒業。人事制度の構築や運用、社員研修プログラムの実施などを専門領域とし、中でも医療法人・社会福祉法人の組織人事コンサルティングが得意分野である。趣味はアルト・サックスの演奏で、バンド活動が休日の楽しみであるという。著作・論文、多数。



先生に聞く

和光大学 経済経営学部 経営学科 准教授
杉本昌昭 先生



情報を活用することの本質を捉え 環境変化に対応できる資質を 養ってほしい

私は大学院まで社会学を専攻していましたが、調査実習の統計や解析を手がける中でコンピュータの世界に踏み込みました。現在はITリテラシーやITと社会との関わりなどについて研究や講義を行い、情報処理の資格試験に向けた演習なども担当しています。

本学は1年生からゼミが開講され、まずレポートの書き方を教えるのですが、ほとんどの学生はWordを起動させて、すぐに書き始めようとします。当然のことと思われるかもしれませんが、レポートを書くには、Webで情報を検索したり、文献を調べたり、論点や構成を整理したりという執筆前段階の作業が重要であり、使うソフトも場面によって異なります。また、パソコンなどの端末やソフトは時代によって様変わりしていきますので、ずっと同じ環境が使えるという保証はありません。大切なのは、単に「使える」ことではなく、情報を入手して、整理して、それをどう活かすかという情報処理の本質です。その姿勢を大学生のうちに培っておけば、社会へ出ても環境の変化に惑わされることなく、みずから順応していけるのではないのでしょうか。

加えて、大学生は自分のパソコンを持つことが必要であると感じています。自分のパソコンは自分で環境を整えていかねばならず、そのような苦労を積むことによってスキルが身についていくのです。これは、家族のパソコンや大学のパソコンではできません。とにかく、パソコンやITに興味を持って、どんどん使ってみることが大切です。

Profile

静岡県富士市出身。1995年 早稲田大学大学院 文学研究科 社会学専攻 修了。2003年に専任講師として和光大学に着任。現在、経営学科長の役職に加え、学外では情報処理技術者試験委員・情報処理安全確保支援士試験委員を務めている。修士(文学)。

